

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 05089370 A

(43) Date of publication of application: 09.04.93

(51) Int. CI

G07G 1/12 G06F 15/21 G06F 15/21

(21) Application number: 03276326

(22) Date of filing: 30.09.91

(71) Applicant:

NITSUKO CORP

(72) Inventor:

ITO RYOSUKE

(54) RESTAURANT POS SYSTEM

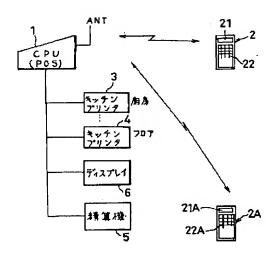
(57) Abstract:

PURPOSE: To rapidly and correctly manage the name and number of waiting customers, the number of vacant tables, the number of the customers to be admitted, etc., by inputting information of the customer waiting for the table to be vacant from a terminal and inputting vacant table information from another terminal.

CONSTITUTION: CPU 1 incorporates a memory where relation between the table and the customers to be admitted is previously stored. Vacant table number information from an adjustment equipment 5 and customer number information at every group of the waiting customers from a handy terminal 2A for servicing the customers are received, the storage contents of the memory are referred so that the guide indication of the appropriate group as against the vacant table is displayed in a display 6 or reported to a client for servicing the customers by a speaker, etc. Display contents to the display 6 are displayed in the display part 21A of the handy terminal 2A for servicing the customers. The display 6 is arranged at a counter, etc., which is a boundary part between the customer tables

and a kitchen so that both of the clients and employ s inside the kitchen are s imultaneously reported.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio





(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

. F I

(11)特許出願公開番号

特開平5-89370

(43)公開日 平成5年(1993)4月9日

技術表示箇所

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

G 0 7 G 1/12 G 0 6 F 15/21 3 6 1 C 8921-3E

3 1 0 Z 7218-5L

3 3 0

7218-5L

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号

特願平3-276326

(71)出願人 000227205

日通工株式会社

(22)出願日

平成3年(1991)9月30日

神奈川県川崎市高津区北見方260番地

(72)発明者 伊 藤 良 輔

川崎市高津区北見方260番地 日通工株式

会社内

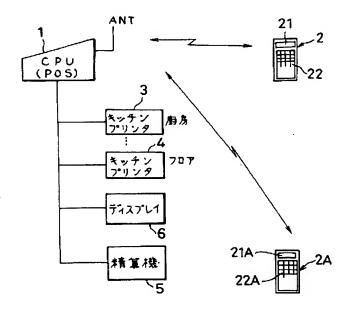
(74)代理人 弁理士 福山 正博

(54)【発明の名称】 レストランPOSシステム

(57)【要約】

【目的】待ち顧客の名前や人数、空きテーブルの番号、 収容人数等を迅速且つ正確に管理するレストランPOS システムを提供する。

【構成】来店してテーブルが空くのを待っている顧客情報をターミナルから入力し、また空きテーブル(及び収容人数)情報を他のターミナルから入力することにより、待ち顧客と空きテーブルを一元的に把握し、空きテーブル及びその収容人数情報に基づいて待ち顧客を迅速且つ正確に案内する。



【特許請求の範囲】

来店した待ち顧客の名前や人数等の顧客情報が入力されるターミナルと、

空きテーブルに関する情報が入力される空きテーブル入力装置と、

前記ターミナルと前記空きテーブル入力装置とが接続され、店内の各テーブルの収容人数情報に基づいて、前記待ち顧客に適応する前記空きテーブルを前記顧客に対応付けて出力せしめる中央処理装置と、

前記中央処理装置の出力情報を表示出力または音声出力 10 する出力装置と、を備えて成ることを特徴とするレストランPOSシステム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、レストランPOSシステムに関し、特に顧客の来店から空きテーブル(席)に着くまでの管理を効率化したレストランPOSシステムに関する。

[0002]

【従来の技術】近年、レストランにおける接客サービス 20 のオートメーション化の進展が著しく進んでいる。例えば、来店した顧客のオーダーを受けた時点で、そのオーダーを厨房に知らせるため、店員が無線回線でコントローラ (中央処理装置)で接続されたハンディターミナルを操作してオーダー品目、数量等を入力してコンロトーラと通信している。ところで、ファミリーレストラン等においては、食事時のような混雑時には入店しても満席となっていることが多く、顧客は入店後、店員に名前と人数を告げてテーブルの空くのを待つことになる。店員は、顧客の名前と人数をリストに書き込んで、既に店内での食事を終わり、精算を完了した顧客の居たテーブルの空きを確認後、順次、早く入店したグループから案内している。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】上述のように、従来のレストランPOSシステムにおいては、店内テーブルの満席時、入店顧客を早く来店したグループから順に空きテーブルに案内するためには、店員が来客の名前と人数をリストに書き込み、精算を完了した顧客が占有していたテーブルを空きと判断し、待ち顧客の人数に合わせて40適切なテーブルに順次案内するものであった。しかしながら、待ち顧客と空きテーブルの管理を、このように人手に頼っていたのでは効率的なテーブル管理、待ち顧客の管理は困難であった。特に、顧客の待ち時間が余りにも長い場合には、食事が終了後長時間テーブルを占有している人に退席を促す等、所定の処置が必要であるに、顧客の退席テーブルを見付けるためには常に店内を注視しなければならず、更に空きテーブルの収容人数を判断したり、待ち顧客人数と空きテーブルの収容人数を判断したり、待ち顧客人数と空きテーブルの収容人数を判断したり、待ち顧客人数と空きテーブルの収容人数を判断したり、

関係を判断することも煩雑であった。

【0004】そこで、本発明の目的は、待ち顧客の名前や人数、空きテーブルの番号、収容人数等を迅速且つ正確に管理するレストランPOSシステムを提供することにある。

2

[0005]

【課題を解決するための手段】前述の課題を解決するため、本発明によるレストランPOSシステムは、来店した待ち顧客の名前や人数等の顧客情報が入力されるターミナルと、空きテーブルに関する情報が入力される空きテーブル入力装置と、前記ターミナルと前記空きテーブル入力装置とが接続され、店内の各テーブルの収容人数情報に基づいて、前記待ち顧客に適応する前記空きテーブルを前記顧客に対応付けて出力せしめる中央処理装置と、前記中央処理装置の出力情報を表示出力または音声出力する出力装置と、を備えて構成される。

[0006]

【作用】本発明では、来店してテーブルが空くのを待っている顧客情報をターミナルから入力し、また空きテーブル(及び収容人数)情報を他のターミナルから入力することにより、待ち顧客と空きテーブルを一元的に把握し、空きテーブル及びその収容人数情報に基づいて待ち顧客を迅速且つ正確に案内する。

[0007]

【実施例】次に、本発明について図面を参照しながら説 明する。図1は、本発明によるレストランPOSシステ ムの一実施例を示す構成図である。POSシステム全体 をコントロールするCPU (POS) 1は、アンテナA NTを構え、複数のオーダー入力用のハンディターミナ ル 2 や入店顧客に対する接客用ハンディターミナル 2 A が無線回線を介して接続され、互いに通信を行う。即 ち、オーダー入力用ハンディターミナル2は、テーブル に着いた顧客のオーダーを受けた店員がオーダー品目 (種類) や数を入力するキー22を操作して、オーダー 内容をアンテナANTを介してCPU1に送出する。C PU1には、厨房内複数個所に設置されているキッチン プリンタ3, …, 4が接続されている。キッチンプリン タは、例えば調理種別、内容毎に分類された部署に配設 されている。上記キッチンプリンタ3, …, 4には、C PU1で受信されたオーダー品目と数量等の情報のうち 当該オーダー品目に対応する調理部署に配設されたキッ チンプリンタに対応オーダー品目と数量がプリントアウ トされ、厨房内の調理を管理する。ハンディターミナル 2に設けられた表示部21には、ウェイターのキー操作 に関する各種情報項目内容が表示され、目視確認を可能 とする。また、この表示部21には、CPU1からの他 の情報を受信して情報を表示せしめることもできる。

客の退席テーブルを見付けるためには常に店内を注視し 【0008】接客用ハンディターミナル2Aは、来店しなければならず、更に空きテーブルの収容人数を判断し た顧客情報を入力するためのもので、店内テーブルが満たり、待ち顧客人数と空きテーブルの収容人数との適応 50 席状態のときの待ち顧客の名前(または番号)と人数情

3

報等がキー22Aから入力される。表示部21Aは、表示部21と同様な機能をもつ。こうして来客用ハンディターミナル2Aから入力された待ち顧客情報は、アンテナANTを介してCPU1に取り込まれる。一方、食事を終了した顧客が席(テーブル)を立ち、精算を行う際にはCPU1に接続されている精算機5の設置してある精算所に立ち寄る。精算所では、店員が食事等の料金の精算を行うとともに、当該精算中の顧客の居たテーブルを空きテーブルとして、その番号を入力する。この空きテーブル番号はCPU1に送出される。

【0009】CPU1には、予め各テーブルと収容人数との関係が格納されたメモリが内蔵されており、精算機5からの空きテーブル番号情報と、接客用ハンディターミナル2Aからの待ち顧客のグループ毎の人数情報とを受け、上記メモリ格納内容を参照して当該空きテーブルに対して適当なグループのテーブル案内指示をCPU1に接続されたディスプレイ6に表示するか、スピーカ等で接客店員に知らせる。このディスプレイ6への表示内容は、接客用ハンディターミナル2Aの表示部21Aに表示せしめることもできる。ディスプレイ6は、顧客テーブルのある店内と厨房との境界部であるカウンター等に配置して、店員と厨房内の従業員両者に対して同時に告知させることもできる。

【0010】ディスプレイ6に表示される表示内容例が図2に示されている。この表示例は、来店順番を示すNO.、待ち顧客の氏名、人数、入店時刻が表示されている。例えば、第1番目の待ち顧客は午後18:20に入店した"山田太郎"で5人のグループであることが表示されている。また、上記CPU1内蔵のメモリに格納されているテーブルNO.と収容人数(最大定員)とのデ30ータに基づいて、精算機5から送出される空きテーブルNO.情報を受けたCPU1は、当該空きテーブルの収容人数に適応する待ち顧客グループの右側に案内すべき

テーブル番号を表示する。本例では、NO. 5の空きテーブルが収容人数6人であるから第1番目の顧客"山田太郎"のグループを案内すべきであることが表示されている。上述の実施例において、接客用ハンディターミナル2Aにプリンタ機能が付属されている場合には、入力データと優先番号をプリントアウトして顧客に渡すこともできる。また、オーダー入力用のハンディターミナル

2と接客用ハンディターミナル2Aを同一構成とするこ

10 [0011]

ともできる。

【発明の効果】以上説明したように、本発明によるレストランPOSシステムは来店してテーブルが空くのを待っている顧客情報をターミナルから入力し、また空きテーブル (及び収容人数)情報を他のターミナルから入力することにより、待ち顧客と空きテーブルを一元的に把握し、空きテーブル及びその収容人数情報に基づいて待ち顧客を迅速且つ正確に案内することができるようになり、顧客サービスの向上及び作業の効率化が図れる。

【図面の簡単な説明】

0 【図1】本発明によるレストランPOSシステムの構成 図である。

【図2】図1の実施例におけるディスプレイ7の表示例 を示す図である。

【符号の説明】

1	CPU
2	オーダー入力用ハンディターミナル
2 A	接客用ハンディターミナル
3, 4	キッチンプリンタ
5	精算機(レジ)
6	ディスプレイ
21, 21A	表示部
22 22Δ	キー部

【図2】

NO	待 客名	(人数)	入店時刻)	空席テーブルNO. (含む)定員)
1	山田太郎	(5人)	18:20	NO.5 (6L)
2	鈴木宏	(2人)	18:30	NO.10 (2人)
3	田中一郎	(3人)	18:35	

